

魅力ある授業のために（単元化例） 古典探究 読むこと

1 単元の目標

- (1) 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めることができる。〔知識及び技能〕 (2)ア
- (2) 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。〔思考力、判断力、表現力〕 B(1)カ
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。「学びに向かう力、人間性等」

2 指導と評価の計画

科目名	古典探究	学年類型	2年	単位数	4単位	話すこと 聞くこと	
単元名	楊貴妃の人間像と郷土との関連について、自分の考えをまとめよう （『唐物語』）					書くこと	
単元の評価規準							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。		「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。		楊貴妃の人物像についてさまざまな文章をもとにまとめる活動を通して、当時の文化を粘り強く調べたり、自らの学習を調整しようとしたりしている。			
主たる言語活動							
作品の内容や和歌について、文化的背景を基に考察し、鑑賞文を書く活動。							
時間	授業のねらい・主たる学習活動			重点項目			評価方法
				知	思	態	
1	熱田神宮と楊貴妃の関係に興味をもち、楊貴妃についての記述をワークシートにまとめる。			○	○		・行動の観察 (ペアワーク)
	①単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ②「梅花無尽蔵」(資料Ⅰ)を見て、熱田神宮に楊貴妃の石塔があったという伝承を知る。 ③4人で一班になり、更に2人一組になって、『唐物語』資料ⅡのAまたはBについて書かれていることを読み取る。楊貴妃についての記述をワークシートにまとめる。 ④班ごとに楊貴妃に関して読み取った情報を集約する。						
2	楊貴妃の人間像と熱田神宮の伝承について、自分の考えをまとめよう。				◎	◎	・記述の分析 (ワークシート)
	⑤『唐物語』(資料Ⅱ)に描かれている楊貴妃の人物像について発表する。 ⑥『源氏物語』(資料Ⅲ)の記述も参考にして、楊貴妃の人物像と熱田神宮の伝承について自分の考えをワークシートに書く。 ⑦振り返りを行う。						
定期考査				◎			

※重点項目について、「◎」は総括の資料とするもの、「○」は、総括の資料とせず、不満足な場合は何らかの指導を行う。

3 思考・判断・表現のルーブリック

観点	評価A	評価B	評価C
楊貴妃の人物像と郷土の伝承を関連付けて考察している。	日本人がどのような人物として楊貴妃を捉えていたかについて、作品の記述を根拠に、郷土の伝承と関連付けて説明している。	日本人がどのような人物として楊貴妃を捉えていたかについて、説明している。	楊貴妃について説明している。